

英国規格協会 BSI との間の規格開発に係る協力の覚書締結について

平成 30 年 3 月 26 日

日本規格協会

1. 本件の概要

一般財団法人日本規格協会（JSA） 理事長 揖斐敏夫と英国規格協会（BSI）規格開発部門の最高責任者 スコット・ステイードマン氏は、3 月 26 日午後、東京において協力覚書に署名しました。この覚書をもとに、サービス、社会システムなどの新しい分野に関する規格の共同開発をはじめ、国際標準化分野の民間ベースでの協力など、幅広い分野で連携を進めていきます。

2. 背景

経済社会のグローバル化、第四次産業革命によるイノベーション、IoT によるつながる社会の到来、高齢社会の進展などを背景として、サービス、社会システムを含む新しい分野のグローバルな規格開発のニーズが高まってきている中、我が国の競争力強化をめざし国際標準化活動を強化していく一環として、経済産業省 日本工業標準調査会（JISC）は、BSI との間で、国家標準化機関（NSB）としての協力覚書を昨年 3 月 2 日に締結したところです。

標準化の分野においては、グローバル化のニーズが益々大きくなるとともに、変化のスピードが速くなり、各国それぞれでの対応では限界があることが明らかとなりつつある中で、日本規格協会（JSA）と世界最大の標準化機関である BSI は、有力な標準化機関同士の連携の強化が今後一層重要になるという認識で一致し、民間主導での新しい分野の共同規格開発、ISO/IEC などの国際規格開発での具体的な協力を推進していくため、上述の JISC と BSI との協力覚書のもと、連携の覚書を締結することになったものです。

3. 意義

日本規格協会（JSA）は、透明性、公平性及び客観性を確保した民間規格として新たに「JSA 規格」（JSAS: ジェイサス）を開発・発行する制度 [BSI の PAS（公開仕様書）と同様のもの] を昨年 6 月に創設したところです。BSI との連携により、民間規格から ISO/IEC などの国際規格に至るまで幅広い分野での協力が可能となり、標準化の多様なニーズに具体的かつ柔軟に対応していくことができるものと期待しています。

なお、日本規格協会（JSA）は、我が国の標準化ナショナルセンターとして、BSI に続き、他の有力な海外の標準化機関との協力関係の構築にも積極的に取り組んでいるところです。

4. 覚書の概要

BSI との協力文書に記された協力活動：

- ①標準化制度、規格開発・出版活動などに関する情報交換
- ②ISO/IEC における国際規格開発の協力活動
- ③イノベーションを加速する新しい分野（サービス分野を含む）の標準化の協力に関する意見交換、候補プロジェクト分野リストの交換、共同規格開発、新しい協力案件などについての定期的な意見交換